



栃木県の経済情勢報告

令和6年8月6日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）6年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	5年度は減少見込みとなっている	6年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	5年度は増益見込みとなっている	6年度は増益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

コンビニエンスストア販売額等は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額や家電大型専門店販売額等は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は前年を下回っている。また、宿泊や飲食サービスについては持ち直している。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 「ハレの日に少し高額な物を買う」という傾向は物価高の中でも続いている。(百貨店)
- 売上高や客単価は上昇しているものの、買上点数は減少しているほか、近年の異常気象のような暑さが消費者の外出意欲を削いでいる。(スーパー)
- インバウンドについては観光地で影響が大きく、売上増加に寄与しているものの、物価高による買い控えは継続しており、客単価や買上点数が減少している。(コンビニ)
- 昨年まで巣ごもり需要からの反動で業界全体の業況は良くなかったが、足下では買替需要が回復し始めている。(家電量販店)
- 消費者の節約志向は感じられるが、生活必需品を販売しているということもあり、大きく消費意欲が減退しているとは感じられない。(ドラッグストア)
- メーカーの認証不正の影響で一部車種ではキャンセルが出ているものの、足下で需要自体は底堅く、生産が追いつかずに受注を停止している車種もある。(自動車販売)
- 仕入価格上昇により商品の値上げを実施したが、飲食業界全体で値上げが続いていることもあり、当社においても客足に影響はみられない。(飲食)
- 宿泊価格、物販価格を引き上げたが、リピーターからの支持もあり顧客が離れるといったことはない。(宿泊)

■ 生産活動 「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

鉱工業生産指数を業種別にみると、食料品や金属製品等が上昇している一方、化学や電気機械が低下しているなど、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- インバウンド需要の増加や新製品をコンスタントに発売できていることから生産は堅調。(食料品)
- 好調な受注により生産は堅調に推移していたものの、足下では資材不足等の影響で納品先の工期が伸びていることに伴い、在庫調整のため生産を抑制している。(金属製品)
- 物価高の影響で発注を先延ばしにするという動きがあり、生産が減少している。(化学)
- 例年であれば5月以降、生産量は増加していくが、物価高の影響で当工場が製造する高価格帯モデルの需要が落ち込んでおり、生産量が伸び悩んでいる。(電気機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 今後も人手不足が継続することが予想されるため、外国人材の導入を試す目的で数人採用した。(製造業)
- より少ない人員での対応をできるよう、社内で専門のチームを組み省人化投資の実施内容を検討している。(飲食)
- 優秀な人材や新卒者の流出防止を目的として、賃金を引き上げている。(小売業)

■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4~6月期

○ 6年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比31.0%の増加見込み、非製造業では同23.3%の増加見込みとなっており、全産業では同28.5%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「6年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年4~6月期

○ 6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比3.6%の増益見込み、非製造業では同0.7%の減益見込みとなっており、全体では同2.3%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4~6月期

○ 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、6年7~9月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を上回っているものの、持家、分譲住宅は前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、国、県、市町いずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 企業倒産 「件数及び負債総額ともに前年を上回っている」



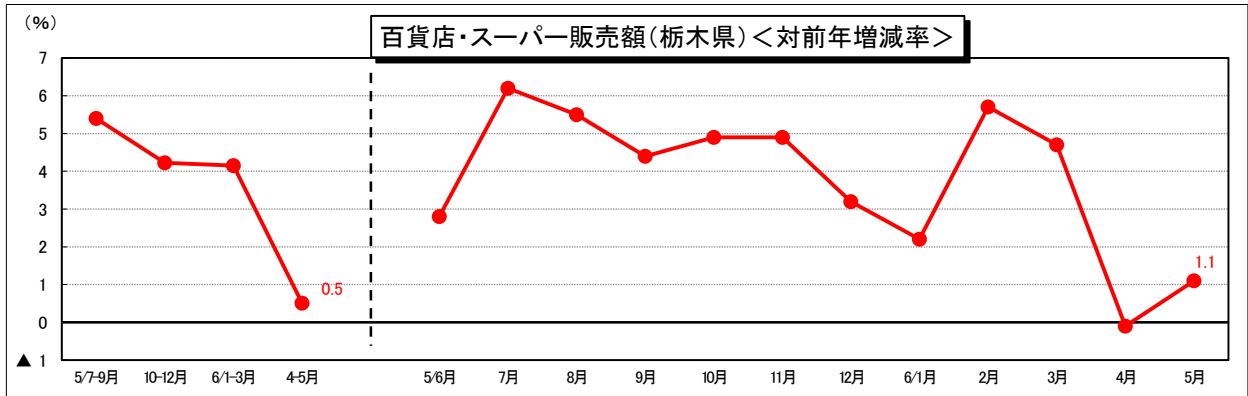
栃木県の経済情勢報告

資料編

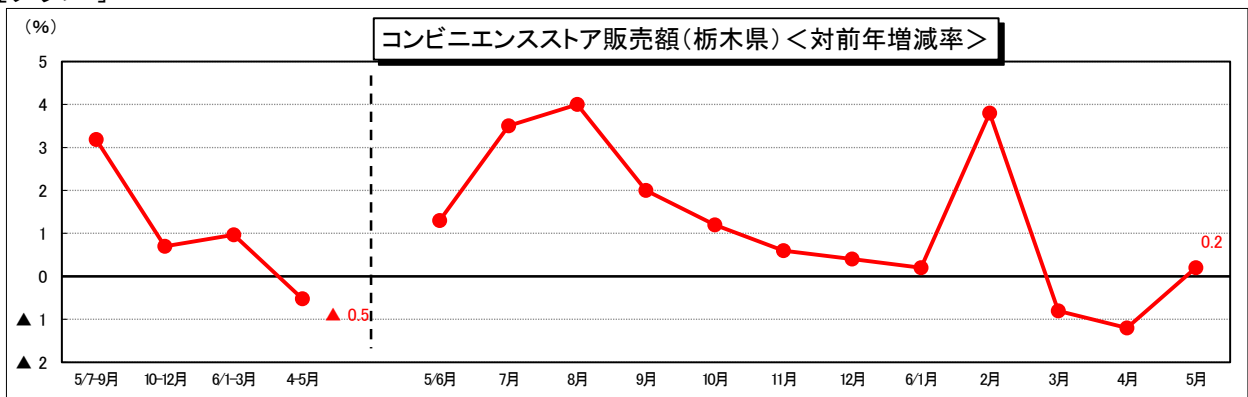
1. 個人消費

緩やかに回復しつつある

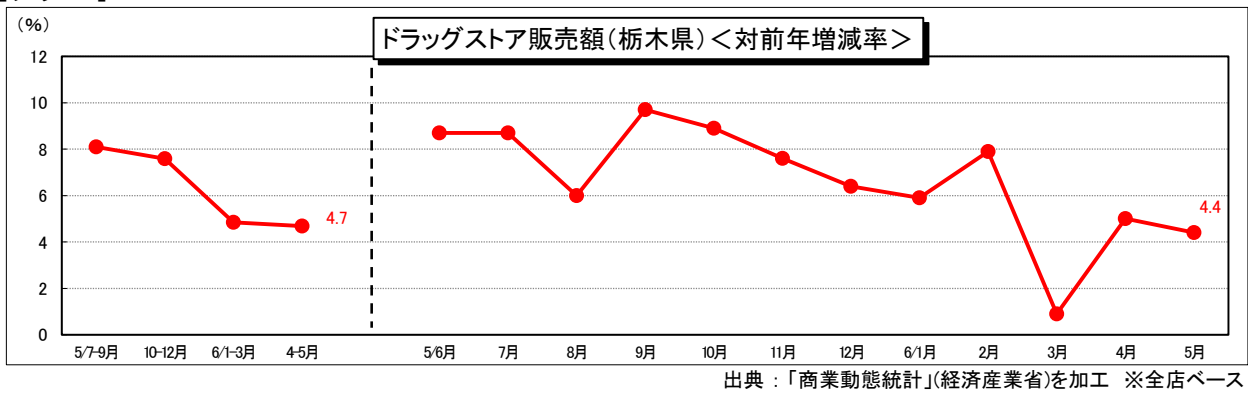
[グラフ1]



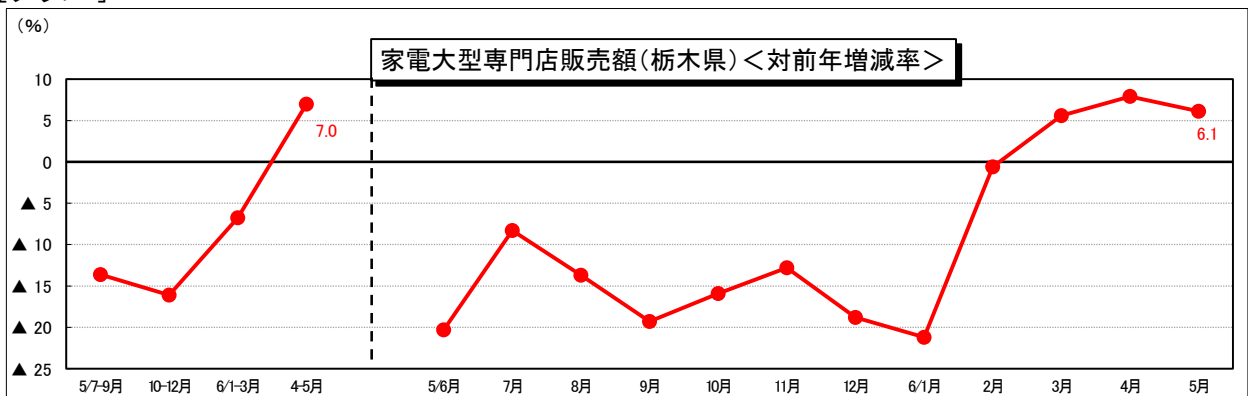
[グラフ2]



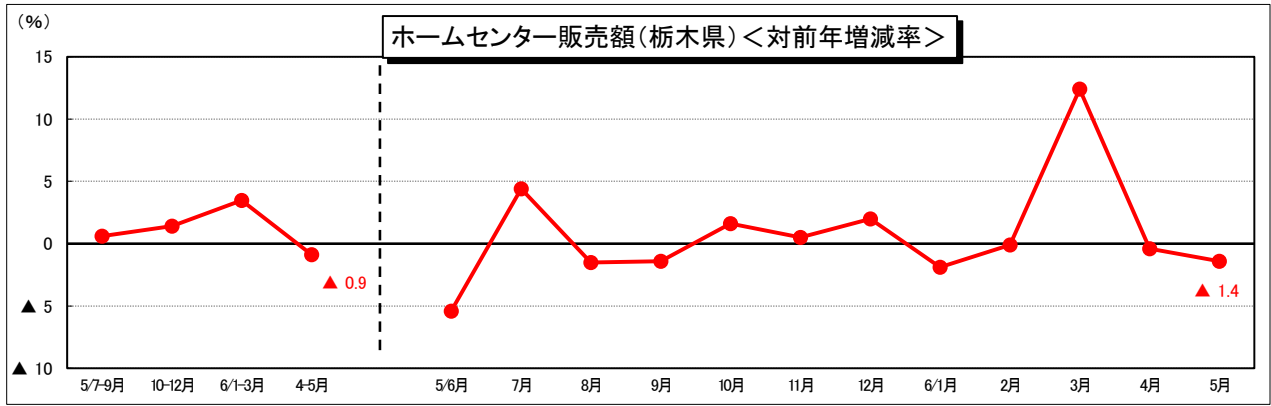
[グラフ3]



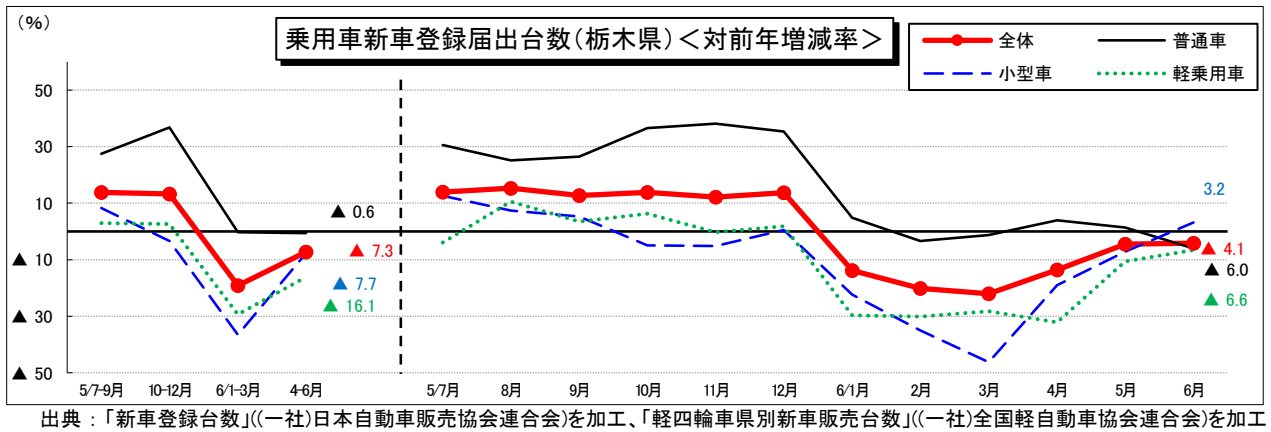
[グラフ4]



[グラフ5]



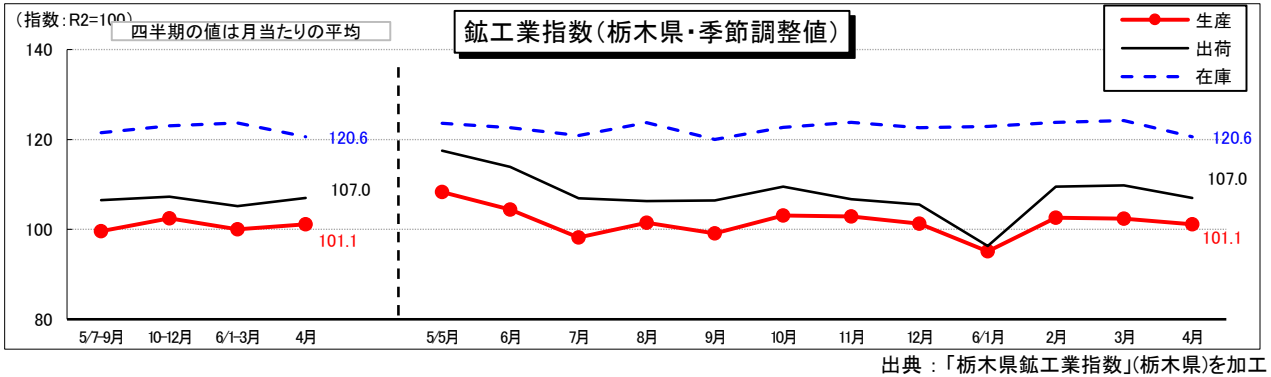
[グラフ6]



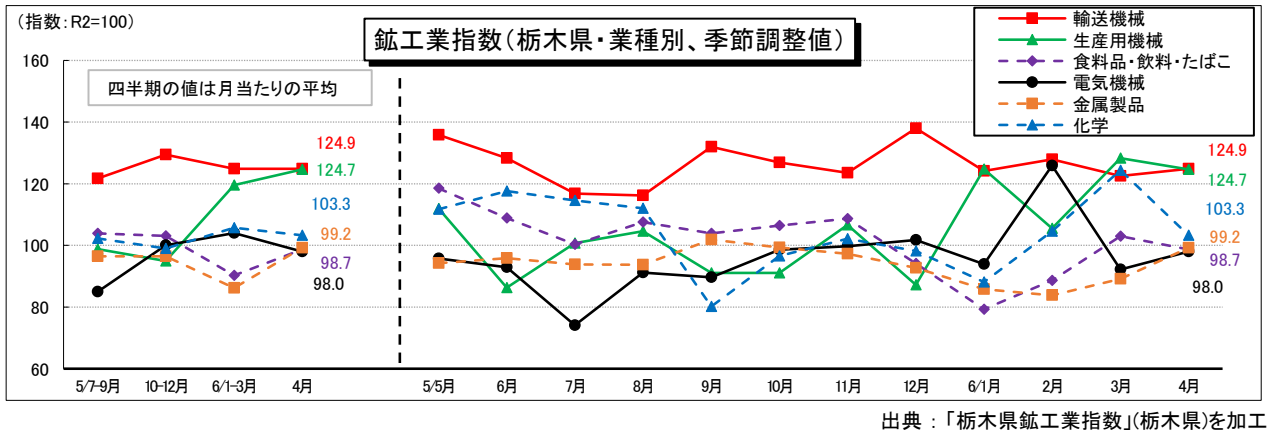
2. 生産活動

持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

[グラフ7]



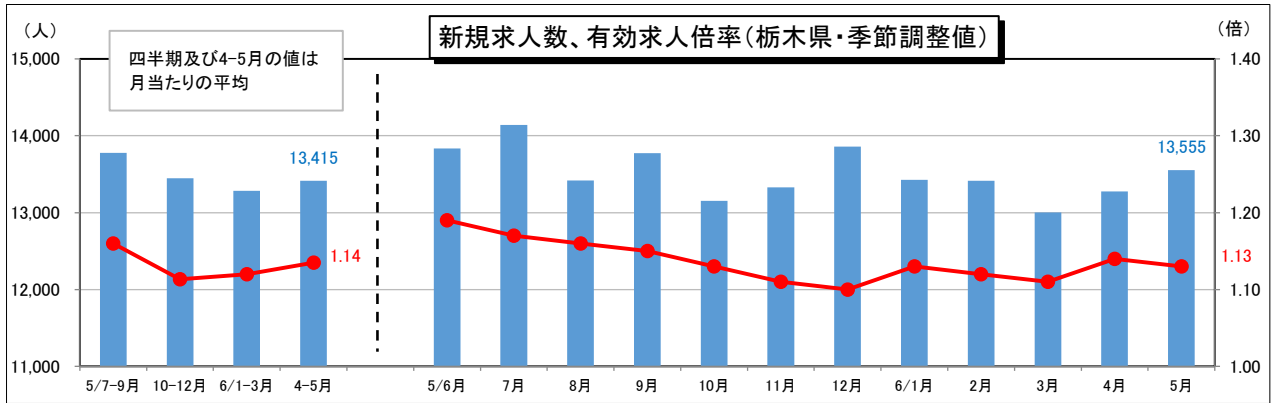
[グラフ8]



3. 雇用情勢

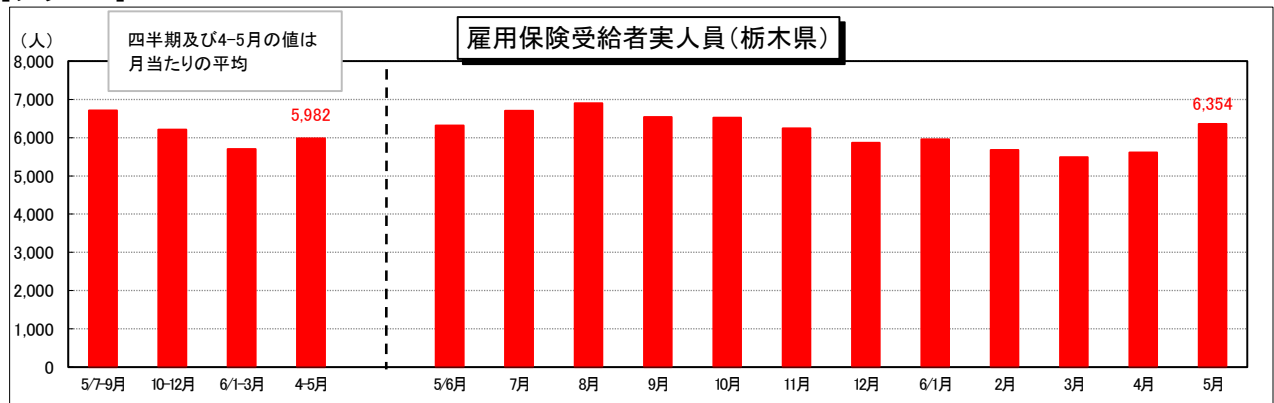
緩やかに持ち直している

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規学卒者を除きパートタイムを含む

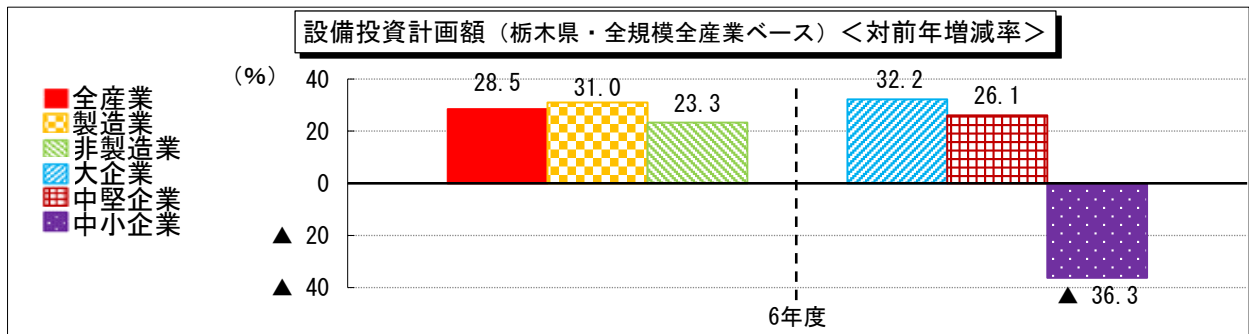
[グラフ10]



出典：「労働市場のようす」(栃木労働局)を加工

4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

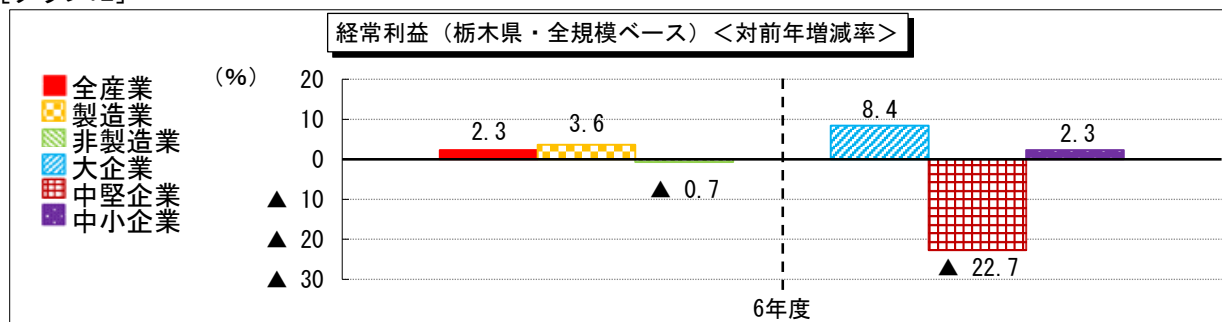


出典：「法人企業景気予測調査(令和6年4~6月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

5. 企業収益

6年度は増益見込みとなっている

[グラフ12]

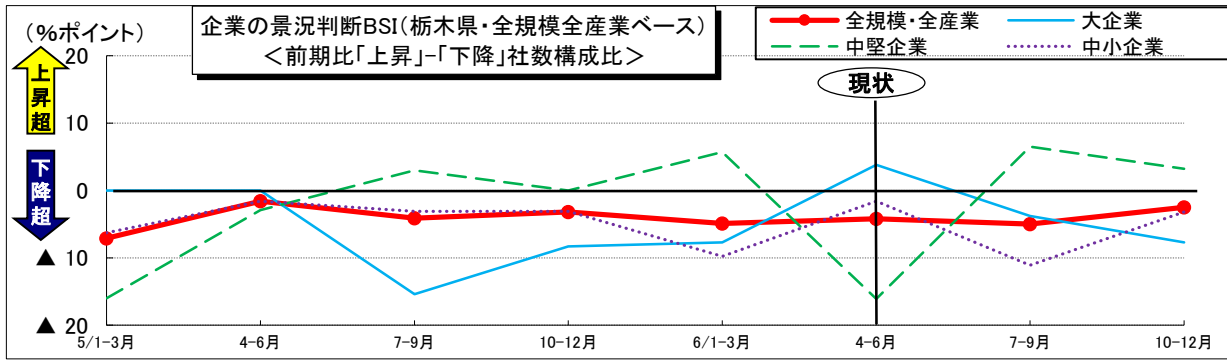


出典：「法人企業景気予測調査(令和6年4~6月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

6. 企業の景況感

「下降」超となっている

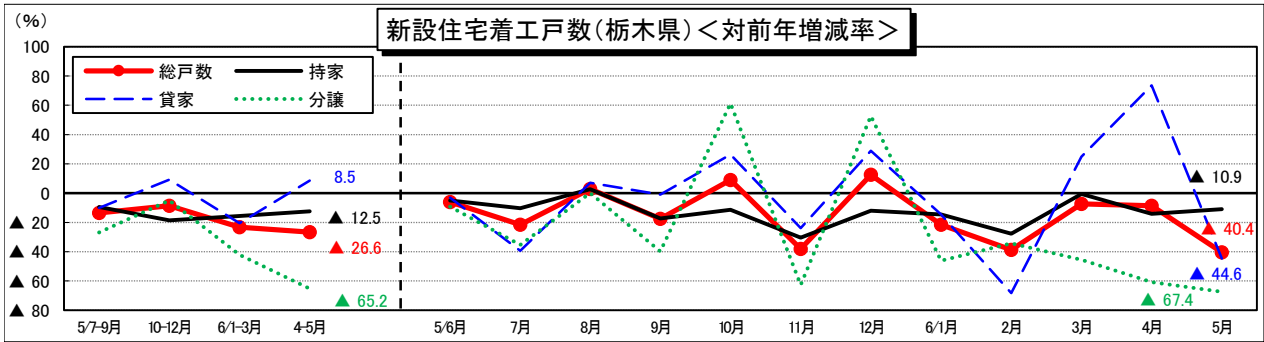
[グラフ13]



7. 住宅建設

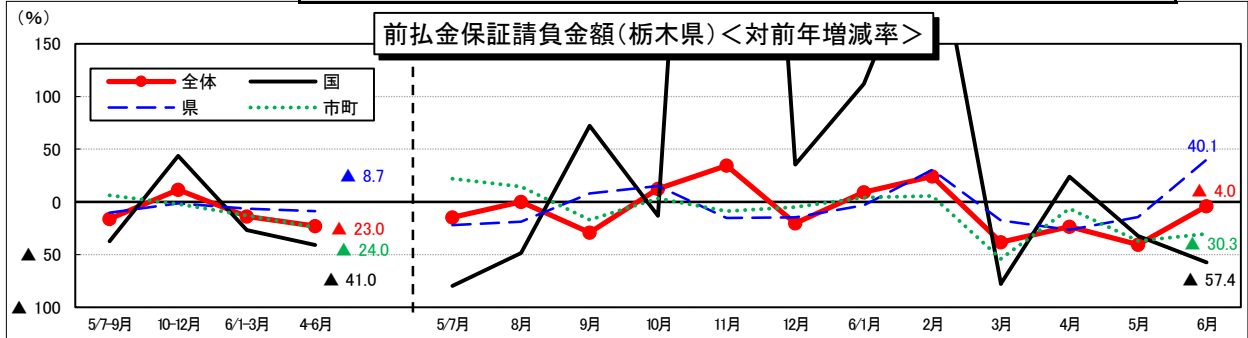
前年を下回っている

[グラフ14]



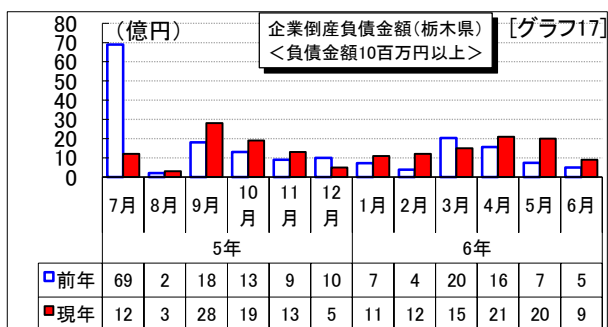
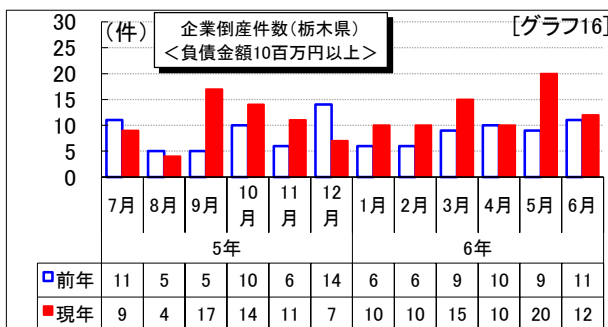
8. 公共事業

前年を下回っている



9. 企業倒産

件数及び負債総額ともに前年を上回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(榊東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工